

第1回 小平市子ども・子育て審議会 会議要録	
日時	令和3年5月21日（金） 午後1時30分～3時30分
場所	小平市役所 6階 大会議室
出席者等	子ども・子育て審議会委員・・・15人（欠席1人） 傍聴人・・・2人
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・小平市子ども・子育て審議会の審議内容等について ・学童クラブの現状について ・保育事業の現状について ・小平市における基幹保育園の基本的考え方について ・保育園の新設について ・小平市立十一小学校学童クラブについて
議事	(1) 小平市子ども・子育て審議会の審議内容等について (2) 学童クラブの現状について (3) 保育事業の現状について (4) 小平市における基幹保育園の基本的考え方について (5) 保育園の新設について (6) 小平市立十一小学校学童クラブについて (7) その他
上記内容についての意見・質疑応答	
(1) 小平市子ども・子育て審議会の審議内容等について	
	特になし
(2) 学童クラブの現状について	
委員	登録児童数と実際の利用人数は同じと考えてよいか。
事務局	毎日の利用人数は、登録児童数のおおむね60%程度である。
委員	保護者より、学童に入りたいがなかなか入れないとの声を聞くので、改善されていない点があるのかと思う。延長保育をしている学童は、どのくらいあるのか。
事務局	延長保育があるのは、市内の学童クラブ40クラブのうち15クラブで、学校だと19校中11校である。

事務局	公設学童クラブについては、期間内に書類をそろえて申し込まれた方は、待機にせずに入会している。
委員	全入会できるということは承知しているが、保育園や幼稚園の預かり保育で18時過ぎまで預かっているのに、学童クラブは18時までであり、その差があるのが現状である。保護者から、働き方を変えないといけないとの声を聞く。基本的に通学している学校のクラブに入会だと思うが、民設民営だと費用の面でためらうとの話も聞く。保護者が希望しやすい、地域も含めたニーズに合ったものを検討いただきたい。
事務局	保護者が、18時までの直営の学童クラブと19時までの指定管理者の学童クラブを選べるのが理想だと思っている。また、市で補助をしている民設民営学童クラブについては、学童クラブだけの利用なら、公設の学童クラブと同じ費用で、学童クラブ費と延長保育料合わせて1万円で利用できるようお願いしている。
委員	小平市だけに限らないが、「小1の壁」という言葉もある。保育園や幼稚園での様々な子育て支援の取組を拡充しているところもあり、そのあとは学童クラブへの移行となる。延長の件も含めた改善にも取り組んでいただき、一方で小平市の運営の仕方というものがどれほど周知されているのか、丁寧なご案内をしていただければと思う。
委員	学童クラブの運営については、非常に一生懸命実施してくださっていると感じている。さまざまな状況を踏まえて学童クラブが増えているということだと思っている。幼稚園や保育園がどういう状況かよくご存じとは思いますが、幼児教育・保育の無償化が始まり、新2号認定という働き方を後押しする制度となり、働く保護者が増えた。保護者の働き方に応じて毎日利用しない児童も増えているから、入会児童数も増えるのだろうと思うが、それでも学童クラブの入会基準は今までと変わらず同じか。
事務局	新2号認定が受けられる程度に就労していれば、学童クラブの入会要件を充足している。また入会基準は、以前から変わっていない。
委員	入会要件が保護者の働き方に合っているなら、保護者も安心する。
(3) 保育事業の現状について	
委員	新しく保育園を作ることだが、家庭的保育事業や認定家庭福祉員の利用促進などではなく、保育園を作る方向で進めていくという理解でよいのか。

事務局	今年度は家庭的保育事業を2施設新設しているが、0歳から2歳までの受け入れであることなどから、様々な方策を組み合わせながら、事業者にもご意見を聞きながら進めていく。
委員	今どのような状況にあるのか、新しく委員になられた方はそこを知りたいと思う。幼稚園も預かり保育をしており、かなりのお子さんを預かっている。そういったことがわかるよう、資料をもう少し統合的なものにしてほしい。
事務局	より分かりやすい資料になるよう研究していく。第二期計画の冊子11ページに基礎的な数値を載せている。入園のしおりなど、より市民に目が届くところで、働き方に合わせたサービスの周知などに努めていく。
委員	資料の中の、待機児対策のうち、「既存施設の活用」とあるが、具体的に何を指すのか。
事務局	西と中央地域は、既存施設の活用ということで、西の施設に若干空きがみられることから、保育の需要と供給のマッチングという意味で記載した。
委員	具体的な対策は検討しているのか。
事務局	待機児童となった保護者には、空きのある施設をご案内し、ホームページなどでも、保育園だけでなく幼稚園も含めて、施設の紹介をしている。
(4) 小平市における基幹保育園の基本的考え方について	
委員	なぜこの2園が基幹園に選ばれているのか、その理由を教えてほしい。また基幹園となると新しい取組も増えるようだが、委託化などや保育士の負担を減らせないか。
事務局	市内の保育施設はだいが老朽化しており、将来にわたって安定した運営を見通すことができる、園舎が比較的新しい2園を選定した。また、負担の増だけでなく、反対に私立保育園の取組を知ること、現場の保育士の気づきや業務の見直しにつながることもある。
事務局	資料にあるように、人員体制を強化し、基幹園担当保育士や栄養士も配置する。大きく負担が増えないよう公立だけでなく私立保育園のお力も借りて、市全体として保育園の質の向上を図っていきたい。
委員	食育を進めるという点で、栄養士のいない園が出てしまうのはどう考えるのか。
事務局	栄養士の配置に変更はない。保育課の栄養士と、基幹園の栄養士が連携を強化していく。0歳児のいない保育園については、現状も保育課の栄養士が対応しているので、変わらず対応していく。
委員	保育園協会としても、基幹園が出来るということに、とても期待している。小平市のすべての子どもたちのために保育の質の向上を目指す、というところ

	<p>ろをしっかりやっていただきたいし、協力していく。全体的な文章の書き方として、公立保育園が上、私立保育園が下と受け取られかねない箇所がある。市内にある私立保育園 36 園に通う多くの子どもや保護者が、読んだ時にどんな印象を持つか、気になる。「公立保育園と比べて」という書き方ではなく、「市内の全保育園が蓄積した」などにできないか。</p>
事務局	<p>文章の捉え方は様々かと思う。近年保育需要の高まりにより保育施設も多様化し、開設間もない園も多いことから、各施設の特色を活かして、公立私立のいいところやノウハウを共有し、質の向上に努めることを目的としている。これはあくまで基本的な考え方なので、実行段階に向けて実務者レベルの担当者に意見を聞いていく。</p>
委員	<p>ぜひいいものを作ってもらいたいし、一緒に作り上げていく立場として、意見を伝えたい。今よりいい保育を提供するのが基幹園の目的と思うので、関係機関との連携など、今当たり前にやっているもの、すべての施設でやっていることをあえてここに書く理由は何か。また、災害時・有事の際の対応を入れてほしい。障がい児や養育困難家庭についても全体で対応するが、基幹園がキーパーソンになるとよい。</p>
事務局	<p>関係機関との連携は、私立保育園においても密にやっていることは承知しているが、基幹園は地域のネットワークの推進役と位置付けている。今後実務者レベルで検討する際にその他のいただいたご意見の趣旨を踏まえていく。</p>
委員	<p>私立保育園や連携機関の気持ちも汲みながら、進めていただきたい。</p>
(5) 保育園の新設について	
委員	<p>資料に記載の、「今後変更がある」とは、定員まで変わることがあるのか。協会としては、3 歳から 5 歳は幼稚園に来てもらいたい。また、幼稚園の認定こども園化と言っていたが、どういう認定こども園になりたいかということや、私立は経営的なこともあるので、公の立場だけでなく、私立の運営に対する理解もしていただけないと、協力できないことが出てくる。</p>
事務局	<p>計画承認を受けたばかりなので、今後園舎の設計など細かい調整がある。もし変更があれば、随時委員の皆様にはご報告していく。認定こども園化については、園の負担にならないよう、協議を進めていきたい。</p>
委員	<p>0 歳児の定員なしについて、ニーズを踏まえて、この定員で承認されたという認識でいいか。</p>
事務局	<p>今回の園以外の 3 園の開園についても、今後の待機児童数を見据えたうえでの総合的な判断である。</p>

事務局	待機児童は、育児休業が明ける1歳から1歳半が多い。0歳の人口も前年度に比べて減少傾向にあるので、今年度の取組としては、0歳の定員なしで承認となった。
(6) 小平市立十一小学校学童クラブについて	
委員	小平市の学童クラブは、学校の敷地内にすべてあり、今日まで一定の評価をいただいていると思うが、今回の11小の件は、敷地外ということなので、今までの基本的な考え方、原則と異なると思われる。ただ、暫定的というようなお話もあった。あくまで例外的な対応として捉えてよいか。
事務局	今回は、あくまで当面の行政需要に対応するための一時的な措置である。学童クラブを利用する児童の安全性・利便性を確保するため、学童クラブを学校の敷地内に設置する、という大原則については、今後も維持していきたい。11小が更新される際は、学童クラブも複合化されるものと考えている。
委員	建て替えの際には複合化が検討されている、だけでは利用者は不安なのではないか。複合化すると言ってほしい。交通安全の面だけではなく、幅広い意味での安心安全でないと、保護者が心配するのは当然と思う。市ではどのように対応するのか。
事務局	複合化については、所管課として要望していく。安全対策については、移動の際に近いとはいえ車道を通ることになるので、職員が迎えに行くことや、1年生ではなくクラブに慣れている2・3年生を対象とするなど、児童の安全を確保したい。
委員	安心安全については、最大限努力していただきたい。
委員	資料の中に、「建て替えの際には学童クラブも」とあるが、他にもあるのか。
事務局	花小金井北公民館、花小金井北地域センターの2つが複合化を検討されている。
委員	そのあたりが、資料からも分かるとよい。
(7) その他	
	特になし